

中学校社会科学習指導案

広島県立教育センター
松栄 健吾

1 日 時 平成 年 月

2 科目名 社会科公民的分野

3 学 年 第3学年

4 単元名 人類の課題

5 単元の目的

科学的探究の論理によって、政治や経済の一般的な理論を習得・累積・変革させ、政治や経済の見方や考え方の成長を図る。

6 単元の目標

「南北問題とは、経済がグローバル化した結果、富を得た北側に位置する先進工業諸国と、富を失った南側に位置する発展途上諸国との間の著しい経済的格差から生じる、経済的・政治的諸問題である」を発見する（概念的知識の習得）。

で習得した概念的知識を一般的な理論として他の社会的事象（地球温暖化問題）に応用している（概念的知識の累積的成長）。

で習得した概念的知識のさらに上位の一般性の高い理論（「自由競争の原則に基づいた資本主義のもとでは、その負の側面として必ず経済的格差による問題を生み、さらにそれを拡大させる。また、経済的格差による問題を根本的に解決することはできない。」）を発見する（概念的知識の変革的成長）。

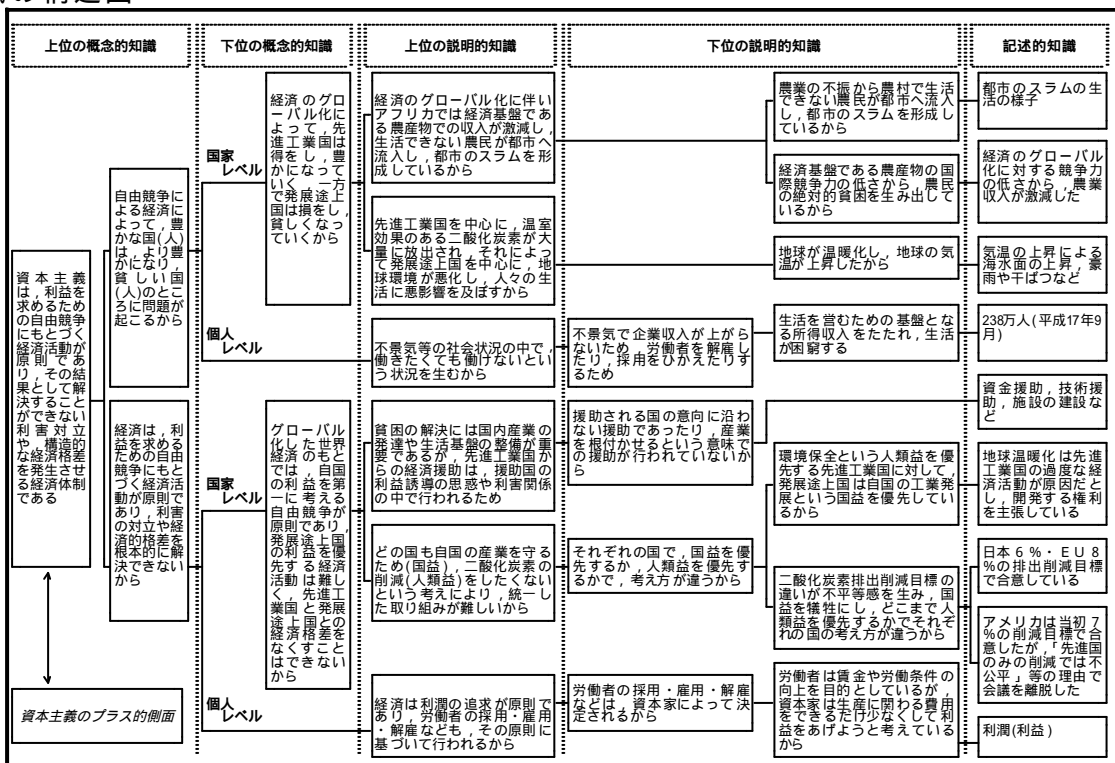
7 単元の評価規準

ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・ 判断	ウ 資料活用の技能 ・表現	エ 社会的事象についての 知識・理解
これからのよりよい世界を築くために、残された人類の課題を解決するための手立てについて考え続けようとする態度が育っている。	アフリカの貧困問題について、多面的・多角的に考察している。 アフリカの貧困問題がなぜ解決しないのかについて、多面的・多角的に考察している。	地球温暖化問題を追求するために役立つ情報を適切に活用している。 地球温暖化問題がなぜ解決しないのかについて追究するために役立つ情報を適切に活用している。	南北問題とは、グローバル化した経済の結果、富を得た北側に位置する先進工業諸国と、富を失った南側に位置する発展途上国との間の著しい経済格差から生じる、経済的・政治的諸問題であることを理解している。 自由競争の原則に基づいた資本主義諸国のもとでは、その負の側面として必ず経済的格差による問題を生み、さらにそれを拡大させる。また、経済的格差による問題を根本的に解決することはできないことを理解している。

8 指導計画（全5時間）

次	学習内容（時数）	観 点				評価規準	評価方法
		ア	イ	ウ	エ		
1	資本主義に基づく問題とは何か（1時間） 「アフリカの貧困問題」					アフリカの貧困問題について、多面的・多角的に考察している。	ワークシート ワークシート テスト
2	資本主義に基づく問題とは何か（1時間） 「地球温暖化問題」					地球温暖化問題を追究するために役立つ情報を適切に活用している。	ワークシート
3	資本主義に基づく問題は、なぜ解決しないのか（1時間） 「アフリカの貧困問題」					アフリカの貧困問題がなぜ解決しないのかについて、多面的・多角的に考察している。 自由競争の原則に基づいた資本主義諸国のもとでは、その負の側面として必ず経済的格差による問題を生み、さらにそれを拡大させる。また、経済的格差による問題を根本的に解決することはできないことを理解している。	ワークシート ワークシート テスト
4	資本主義に基づく問題は、なぜ解決しないのか（1時間） 「地球温暖化問題」					地球温暖化問題がなぜ解決しないのかについて追究するために役立つ情報を適切に活用している。	ワークシート
5	まとめ（1時間）					これからのよりよい世界を築くために、残された人類の課題を解決するための手立てについて考え続けようとする態度が育っている。	ワークシート

9 知識の構造図



10 授業展開
【第1時間目】

	発問()・説明()	学習活動	資料	生徒の反応(獲得させたい知識)
導入	<p>今回の単元は「人類の課題」です。何が私たち人類の課題なのかを、みなさんと一緒に考えていこうと思います。この写真は、どこの地域のものだと思いますか。 なぜ、アフリカは貧困に苦しんでいるのでしょうか。</p>	<p>T：説明する</p> <p>T：発問する P：答える T：発問する P：推測する</p>	写真(アフリカの貧困の様子)	<p>アフリカ</p> <p>産業が発達していない。 工業が発達していない。 外国からの援助がたりない。 など</p>
展開	<p>この時間は、「なぜ、アフリカは貧困に苦しんでいるのか」について、考えていこうと思います。</p> <p>まず、VTRを見ながら、貧困の原因だと思われることをワークシートにまとめましょう。</p> <p>なぜ、アフリカは貧困に苦しんでいるのだと思いますか。</p> <p>なぜ、都市に住む人々は仕事がない(失業している)のですか。</p> <p>なぜ、都市に多くの人に移住してくるのですか。 都市に移住してきた人たちは、どこから移住してきましたか。 では、VTRを見ながら、農村から都市に移住する人が増加した原因をワークシートにまとめましょう。</p> <p>なぜ、農村から都市に移住してくる人が増加したのですか。</p>	<p>T：課題を提示する</p> <p>T：説明する P：VTRを視聴する P：まとめる T：発問する P：推測する</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える T：発問する P：答える T：説明する P：VTRを視聴する P：まとめる T：発問する P：答える</p>	<p>VTR(スラムの生活)</p> <p>VTR(農村の様子)</p>	<p>仕事がない。 都市に多くの人に移住している。 など</p> <p>仕事の量以上にたくさんの人 が移住してくるので仕事がまわ ってこないから。</p> <p>.....</p> <p>農村</p> <p>経済のグローバル化が進み、ア ジアや南米で大量生産された安 い商品が出回るようになり、コ ーヒーの価格は最盛期の3分の 1に下落したから。 ケニアの農家の収入は大きく落 ち込み、農村を捨てて都市に移 り住む人が相次ぐようになった から。</p>
終結	<p>なぜ、アフリカは貧困に苦しんでいるのですか。</p> <p>アフリカは経済のグローバル化によっ て貧困に苦しんでいるわけですが、経 済のグローバル化によって豊かになっ た国はありますか。 経済のグローバル化はアフリカのよう に発展途上国を貧困に苦しむ国にし、 反対に日本やアメリカ合衆国のような 先進国工業国をより豊かな国にしてい きます。</p>	<p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：説明する</p>		<p>経済のグローバル化にともない 経済基盤である農業が成り立た なくなり、都市への人口の集中 をまねいているから。</p> <p>日本やアメリカ合衆国 製品を大量に輸出しているし、 海外進出している企業も多い。</p>

【第2時間目】

	発問()・説明()	学習活動	資料	生徒の反応(獲得させたい知識)
導入	<p>前の時間はアフリカの貧困問題について学習しました。 では、なぜ、アフリカは貧困に苦しんでいるのですか。</p> <p>今年7月にイギリスで行われたサミット(主要先進国首脳会議)では、二つの人類の課題について話し合われました。その一つがアフリカの貧困問題だったのですが、もう一つは何だったのでしょうか。 この時間は、「地球温暖化問題とは、いったい何か」について考えようと思います。</p>	<p>T：説明する</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：説明する</p>	資料(サミットの新聞記事)	<p>経済のグローバル化にともない経済基盤である農業が成り立たなくなり、都市への人口の集中をまねくことで発生している貧困状態。 経済のグローバル化は、発展途上国をより貧しくし、工業先進国をより豊かにする。</p> <p>地球温暖化問題</p>
展開1	<p>温暖化は地球にどのような問題をおこすのでしょうか。</p> <p>この写真は、「モルディブ共和国」でインド洋に浮かぶ島国です。地球の温暖化が進み、海面が1m上昇すれば、モルディブや太平洋の島々の80%が水没するといわれています。このペースで温暖化が進めば、平均気温は3度上がり、最高で海面が1m上昇するといわれています。 この世界地図の 印の地域が、温暖化の影響を受けやすいのです。この地域に共通していることは何でしょう。 では、地球の温暖化の原因となるものは何でしょうか。 では、二酸化炭素は、何によって発生しますか。</p> <p>このグラフは、「世界の二酸化炭素排出量の割合」を示したものです。上位5か国が分かりますか。</p> <p>それでは地球温暖化は、何だといえますか。</p> <p>この地球温暖化問題とアフリカの貧困問題には、何か共通点がありますか。</p>	<p>T：発問する P：答える</p> <p>T：説明する</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p>	<p>資料(海に浮かぶモルディブ共和国)</p> <p>資料(温暖化が及ぼす影響)</p> <p>資料(世界の二酸化炭素排出量の割合)</p>	<p>かんばつをおこす。 集中豪雨をおこす。 台風の多発させる。 極地方の氷を溶かし、海面を上昇させる。 など</p> <p>発展途上国がある地域</p> <p>二酸化炭素</p> <p>人間の呼吸物を燃やす 自動車の排出ガス 工場の排出ガス</p> <p>1位：アメリカ合衆国 2位：EU 3位：中国 4位：ロシア 5位：日本 ほとんどが先進国</p> <p>先進工業国を中心に、温室効果のある二酸化炭素が大量に放出され、それによって地球環境が悪化し、人々の生活に悪影響を及ぼすこと。</p> <p>経済のグローバル化によって、先進工業国は豊かになっていく、一方で発展途上国は貧しくなっ</p>

	<p>このように、経済のグローバル化によって、先進工業国はより豊かになり、発展途上国はより貧しくなる。工業先進国は地球の北側に多く、発展途上国は地球の南側に多いから、このような問題を「南北問題」といいます。</p>	T : 説明する		ていく。
展開 2	<p>このように経済のグローバル化によって得をする国、損をする国が出て、損をする国に問題が起こっていましたが、個人のレベルで損をする人のところに問題が起こるといったような問題はないでしょうか。</p> <p>失業は本人の生活にどのような影響を与えますか。</p> <p>不景気になると失業者が増加しますが、それはなぜですか。</p> <p>結局、失業問題とは、どういうことですか。</p>	<p>T : 発問する P : 推測する</p> <p>T : 発問する P : 答える</p> <p>T : 発問する P : 答える</p> <p>T : 発問する P : 答える</p>		<p>失業問題 など</p> <p>生活を営むための基盤となる所得収入をたたれ、生活が困窮する。</p> <p>企業は、不景気で収益が上がらないため、労働者を解雇したり、採用をひかえたりするため。</p> <p>不景気等の社会状況の中で、働きたくても働けないという状況を生むこと。</p>
終結	<p>国家のレベルでいうとアフリカの貧困問題や地球温暖化問題である南北問題、私たちの身の回りレベルでいえば失業問題。これらの問題の共通点は何だといえますか。</p> <p>それでは、なぜ、そのようなことが起こるのでしょうか。</p> <p>それでは次の時間から、なぜこんなことになるのかを考えていきましょう。</p>	<p>T : 発問する P : 答える</p> <p>T : 発問する P : 推測する</p> <p>T : 説明する</p>		<p>豊かな国(人)は、より豊かになり、貧しい国(人)のところに問題が起こる。</p> <p>競争があるから。 自由に経済活動ができるから。 など</p>

【第3時間目】

	発問()・説明()	学習活動	資料	生徒の反応(獲得させたい知識)
導入	<p>アフリカの貧困問題、地球温暖化問題、南北問題、失業問題。これらの問題は解決する問題だと思いますか。</p> <p>簡単には解決しそうでない問題かもしれませんね。南北問題などは、今から40年前から取り組まれている問題ですからね。</p> <p>ここからはパート です。「なぜ、解決しないのか」編です。まず、アフリカの貧困問題から考えていきましょう。</p>	<p>T : 発問する P : 推測する</p> <p>T : 説明する</p> <p>T : 説明する</p>		<p>解決する。 解決しない。 分からない。</p>
展開	<p>なぜ、アフリカの貧困問題は解決しないのですか。</p> <p>では、VTRを見て、アフリカの貧困問題が解決しない原因をワークシートにまとめましょう。</p> <p>なぜ、アフリカの貧困問題は解決しないのですか。</p>	<p>T : 発問する P : 推測する</p> <p>T : 説明する P : VTRを視聴する P : まとめる T : 発問する P : 答える</p>	VTR (先進国の経済援助)	<p>先進国が本気で取り組んでいない。 先進国からの援助がたりない。 など</p> <p>産業を根付かせるという意味での支援が行われていないため。 援助することが目的となってい</p>

	なぜ、産業を根付かせる支援が行われないのですか。	T：発問する P：答える	資料 (日本のフィリピンへの経済援助)	るから。 援助する先進国の利益のための援助となっているから。
終結	それでは、アフリカの貧困問題は、なぜ解決しないのですか。	T：発問する P：答える		貧困の解決には、国内産業の発達や生活基盤の整備が重要であるが、工業先進国からの経済援助は、援助国の利益誘導の思惑や利害関係の中で行われるため。

【第4時間目】

	発問()・説明()	学習活動	資料	生徒の反応(獲得させたい知識)
導入	この時間は、地球温暖化問題についてなぜ、解決しないのかを考えていきたいと思います。 では、なぜ、地球温暖化問題は解決しないのだと思いますか。 教科書や資料集にも掲載されていると思いますが、地球温暖化問題に関しては、1997年に京都である国際会議が開かれました。何という会議だったか知っていますか。 今回は、この温暖化防止京都会議での議論を中心に学習を進めていきたいと思います。	T：説明する T：発問する P：推測する T：発問する P：答える T：説明する	資料(温暖化防止京都会議の様子)	生徒の反応(獲得させたい知識) 他の国が何とかしてくれると思っているから。 世界全体で協力できないから。 など 温暖化防止京都会議
展開1	では、資料を見ながら、温暖化防止に向けて、各国がどのような立場をとっているかまとめましょう。 まず、発展途上国は、温暖化防止に向けてどのような立場をとっていますか。 先進国は、少し複雑なのですが、日本やEU諸国は、温暖化防止に対してどのような立場をとっていますか。 最後に、二酸化炭素排出量の大御所であるアメリカ合衆国はどのような立場をとっていますか。 温暖化防止を進めようとする日本やEUにとっては、最大の排出国アメリカ合衆国の脱退は、おおきなショックだったようですが、排出権の取り引きができるシステムと導入し、経済効果を期待するアメリカを取り込もうとしているのです。 それでは、なぜ、地球温暖化問題は解決しないのですか。	T：説明する P：資料を見る P：まとめる T：発問する P：答える T：発問する P：答える T：発問する P：答える T：説明する T：発問する P：答える	資料(二酸化炭素排出量削減をめぐる各国の対応)	地球温暖化は先進国の過度な経済活動が原因だとし、開発する権利を主張している。排出削減目標は課せられていない。 日本6%・EU8%の排出削減目標で合意している。温暖化防止にはかなり前向きである。 当初7%の削減目標で合意したが、2001年に「先進国だけの削減では不公平」等の理由で会議を脱退した。 どの国も自国の産業を守るため(国益)、二酸化炭素の削減(人類益)をしたくないという考によりえか、統一的な取り組みが難しいから。

	<p>では、アフリカの貧困問題と地球温暖化問題をまとめた南北問題は、なぜ解決しないのでしょうか。</p>	<p>T：発問する P：答える</p>	<p>グローバル化した世界経済のもとでは、自国の利益を第一に考える自由競争が原則であり、発展途上国の利益を優先する経済活動は難しく、先進工業国と発展途上国との経済格差をなくすることはできないから。</p>
展開 2	<p>では、個人レベルで南北問題とよく似た問題だとした失業問題について考えていきましょう。 まず、企業は何を目的に生産活動をしていますか。 なぜ、資本家と労働者は対立するのですか。</p> <p>なぜ、労働者は企業で弱い立場なのですか。</p> <p>失業問題は、なぜ解決しないのですか。</p>	<p>T：説明する</p> <p>T：発問する P：答える T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p>	<p>利潤(利益)</p> <p>労働者は賃金や労働条件の向上を目的としているが、資本家は生産にかかる費用をできるだけ少なくして利益をあげようと考えているから。</p> <p>労働者の採用・雇用・解雇などは、資本家によって決定されるから。</p> <p>経済は利潤の追求が原則であり、労働者の採用・雇用・解雇なども、その原則に基づいて行われるから。</p>
終結	<p>この単元の2時間目に、アフリカの貧困問題や地球温暖化問題などの南北問題や失業問題とは、経済的格差、いわゆる貧富の差が発生する。それが問題の根本の部分だということでしたね。 では、このような問題は、なぜ解決しないのでしょうか。</p> <p>そのような私たちの社会は、何主義というのでしょうか。</p> <p>このように自由な競争を原則とすることを資本主義といいます。 それでは次の時間は、これまでの学習を踏まえて、資本主義について考えてみましょう。</p>	<p>T：説明する</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：説明する</p> <p>T：説明する</p>	<p>私たちの社会は自由競争に基づく経済活動が原則であり、利害の対立や経済的格差を根本的に解決することはできないから。</p> <p>資本主義</p>

【第5時間目】

	発問()・説明()	学習活動	資料	生徒の反応(獲得させたい知識)
導入	<p>これまでの時間は、アフリカの貧困問題などを取り上げ、「なぜ、貧しいところに問題が起こるのか」「なぜ、そのような問題は解決しないのか」という二つの大きな問いを考えてきましたが、もう一度確認しておきましょう。 なぜ、アフリカの貧困や地球温暖化などの南北問題が、起こっているのですか。</p> <p>問題は、なぜ解決しないのですか。</p>	<p>T：説明する</p> <p>T：発問する P：答える</p> <p>T：発問する P：答える</p>		<p>経済のグローバル化などで経済格差が生まれ、貧しいところに問題が起こる。</p> <p>経済は、利益を求めるための自由競争に基づく経済活動が原則であり、利害の対立や経済的格</p>

	<p>そのような経済の仕組みを何主義とい いますか。 これまでの学習をまとめてみよう。 なぜ、アフリカは貧困に苦しむのか。</p>	<p>T：発問する P：答える T：指示する P：まとめる T：発問する P：答える</p>		<p>差を根本的に解決できないから。 資本主義 構造図でまとめる。 経済のグローバル化にともない 経済基盤である農業が成り立た なくなり、都市への人口の集中 をまねいているから。 貧困の解決には、国内産業の発 達や生活基盤の整備が重要であ るが、工業先進国からの経済援 助は、援助国の利益誘導の思惑 や利害関係の中で行われるため。 先進工業国を中心に、温室効果 のある二酸化炭素が大量に放出 され、それによって発展途上国 を中心に、地球環境が悪化し、 人々の生活に悪影響を及ぼすこ と。 どの国も自国の産業を守るため (国益)、二酸化炭素の削減(人類 益)をしたくないという考えによ り、統一的な取り組みが難しい から。 経済のグローバル化によって、 先進工業国は豊かになっていく、 一方で発展途上国は貧しくなっ ていく。 グローバル化した世界経済のも とでは、自国の利益を第一に考 える自由競争が原則であり、発 展途上国の利益を優先する経済 活動は難しく、先進工業国と発 展途上国との経済格差をなくす ことはできないから。 不景気等の社会状況の中で、働 きたくても働けないという状況 を生むこと。 経済は利潤の追究が原則であり、 労働者の採用・雇用・解雇など も、その原則に基づいて行われ るから。 自由競争による経済によって、 豊かな国(人)は、より豊かにな り、貧しい国(人)のところに問 題が起こる。 経済は、利益を求めるための自 由競争に基づく経済活動が原則 であり、利害の対立や経済的格 差を根本的に解決できないから。</p>
展 開	<p>この他に、資本主義で説明すること ができる国家レベルの問題や、個人レ ベルの問題は、どのようなものが考えら</p>	<p>T：発問する P：推測する</p>		<p>人口問題、資源・エネルギー問 題、地域紛争、戦争、企業のリ</p>

	<p>れますか。 では、資本主義は、解決できない問題をつくり出す悪いことばかりなのでしょうか。何か良いことはないのでしょうか。</p>	<p>T：発問する P：推測する</p>	<p>ストラ など</p> <p>新しい製品が生まれる。 高品質の製品ができる。 価格が安くなる。 科学技術が進歩する。 豊かになれるチャンスが生まれる。 など</p>
	<p>今回の学習を通して、人類の課題とされる様々な問題が、資本主義による問題であることが分かりました。この人類の課題を解決するために、私たちは資本主義をやめることができるのでしょうか。</p>	<p>T：発問する P：推測する</p>	<p>資本主義経済は、どうしても経済的不平等を生むのでやめることができる。 科学技術の進歩や日本が豊かなのも資本主義だからなので、やめることはできない。 など</p>
	<p>意見が分かれましたね。なぜ、問題が解決せずに問題として残るのでしょうか。</p>	<p>T：発問する P：推測する</p>	<p>私たちは資本主義のよさを享受しており、やめることができない。しかし、それによって負を生み出し、その結果、問題が残る。社会保障制度にふれる</p>
終結	<p>今後、どうなるのでしょうか。 これから考え続けていきましょう。 (オープンエンド)</p>	<p>T：発問する P：推測する T：説明する</p>	<p>わからない。</p>

11 参考文献

- 猪瀬武則(2002)：「公民的分野で育成すべき見方や考え方」『中学校社会科教育実践講座』ニチブン
- 谷本美彦(2002)：「政治や経済についての見方や考え方を身に付けさせる指導と評価」『中学校社会科教育実践講座』ニチブン
- 谷口和也(2002)：「生きる力をはぐくむ中学校社会科の単元構成」『中学校社会科教育実践講座』ニチブン
- 唐木清志(2002)：「新学習指導要領における学習資料」『中学校社会科教育実践講座』ニチブン
- 森分孝治・片上宗二編集(2000)：『社会科重要用語300の基礎知識』明治図書
- 森分孝治(1997)：「社会科における思考力育成の基本原則 - 形式主義・活動主義的偏向の克服のために - 」『社会科研究』第47号 全国社会科教育学会
- 片上宗二編著(2005)：『社会科教材の論点・争点と授業づくり “民主主義”をめぐる論点・争点と授業づくり』明治図書
- 岩田一彦編著(2005)：『社会科教材の論点・争点と授業づくり “エネルギー問題”をめぐる論点・争点と授業づくり』明治図書
- 池野範男編著(2005)：『社会科教材の論点・争点と授業づくり “資本主義経済”をめぐる論点・争点と授業づくり』明治図書
- 溝上泰編著(2004)：『社会科教育実践の構築』明治図書
- 社会認識教育学会編(2003)：『社会科教育のニュー・パースペクティブ』明治図書
- 澁澤文隆・佐伯真人・大杉昭英編著(2000)：『中学校学習指導要領の展開社会科編』明治図書
- 片上宗二(1995)：『オープンエンド化による社会科授業の創造』明治図書
- 日本社会科教育学会(2000)：『社会科教育事典』ぎょうせい
- 柿沼利昭編集(1992)：『中学校社会科指導事典 公民』東京法令出版
- 工藤文三編集(2001)：『中学校社会科指導展開事例集 公民』東京法令出版
- 室井義雄(1997)：『南北・南南問題』山川出版社
- 田中治彦(1994)：『南北問題と開発教育』亜紀書房
- 早瀬保子(1999)：『アジアを見る眼97 アフリカの人口と開発』アジア経済研究所
- 宇沢弘文(1995)：『地球温暖化を考える』岩波新書
- 江藤隆司(2002)：『“トウモロコシ”から読む世界経済』光文社新書
- 石井彰・藤和彦(2003)：『世界を動かす石油戦略』ちくま新書
- 池田香代子・マガジンハウス(2002)：『世界がもし100人の村だったら2』マガジンハウス
- 世界博学倶楽部(2004)：『図解 世界なるほど地図帳』PHP研究所